

LOGLIFE IN **COUNTRY** STYLE

四季の移ろい、自然の息吹を身近に感じながら、自分らしく生きる



タウン誌のタイトルは「78%」でした。
100%完璧じゃなくていい。
78%くらいがちょうどいいと思って……。

LOGLIFE IN **COUNTRY** STYLE / 01



カシ、ナラ、サクラ、クリ、クヌギ……。木々がそれぞれの個性をみせる美しい広葉樹林のなかに、ログハウスを手づくりした。メーカーのキットを組み上げたが、ご夫妻のアレンジが各所に施されており、原型をとどめていない。リンゴやブルーベリーのジャム、トマトのピューレなどを手づくりしながら、自然の豊かさを実感する毎日を楽しんでいる。



自分の手を使って理想を創る。

長野県 | 永倉さんのログハウス

「自分のことは何でも自分でできなければならない、本来ダメだと思えますよ。食事もそう。家づくりもそう。老後のことを考えて勉強する人がいるけど、こういうことは勉強しなくて実践ですよ」と話すのは、美しい広葉樹の森が広がるロケーションに、ログハウスを手づくりした永倉章さん。

奥様の和子さんとともに、静岡県でライブハウスを経営。タウン誌の編集をしていたご夫妻は、毎夜遅くまで多忙を極める生活を一变、以前から憧れていた八ヶ岳の麓に移住し、豊かな自然と四季を感じながら健康的な暮らしを営むことにした。近くの沢の湧き水を引き、広い畑を借りて数十種類にもおよぶ野菜やキノコを栽培。そして自分たちの手であらたに会員制のコテージを製作した……。日々の生活のなかでできることは、自分たちの手で、今、豊かな森恵まれた自然とともにある豊かな暮らしを実現した。「自分は建築士じゃないし、大工でもないから、プロが見れば笑われる部分もあるだろうけど、自分の手で工夫しながらつくったログハウスは、やはり愛着がありますよ。暖かな木の香りも、今の生活環境も、手づくりだからこそその魅力を演出できたと思います。自然に逆らわず、自分たちらしく、今の生活を楽しんでいきたいですね」とご夫妻は口を揃える。



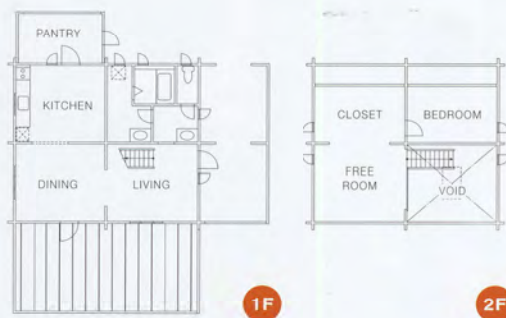


LOGLIFE IN **COUNTRY STYLE** / 01





新しく完成させたコテージをベースに、ドイツのクラインガルデンのようなシステムをつかってみたいですね。



いかに自分たちらしく、自分たちがより快適に暮らしていくか。この問いの答えは、自分たちの手を使って、自分たちの欲求に合う環境をつくることだった。食料庫は増築で、キッチンの造作もすべて手づくり。「山のキノコと自家製トマトソースのスパゲティ」は、土地の恵みを味わう究極の贅沢だろう。

DATA

家族構成／夫婦・敷地面積／1,178.1㎡・1階面積／47.9㎡・2階面積／43.7㎡・
 構法／丸太組構法・構造材／フィンランド・パイン・総工費／1,412万円

PRODUCER'S ACCESS

(株)TALOインターナショナル
 〒157-0066 東京都世田谷区成城 9-30-12-107
 TEL 03-3482-4555 FAX 03-3482-4566
 URL <http://www.talo.co.jp/>